赤い羽根共同募金運動

令和４年度事業報告

～　やさしさの羽根で　絆が広がる。　～

（令和４年度静岡県版ポスター）

社会福祉法人静岡県共同募金会

目　　次

第1部　概　要

1　募金状況 ---------- 1
2　助成状況 ---------- 1

第2部　事業実施状況

第1　募金活動

1　社会的ニーズの把握 ---------- 3
2　助成要綱の制定---------- 3
3　助成申請の受付---------- 3
4　助成計画の策定と目標額の設定 ---------- 3
5　広報活動---------- 4
（1）県民全体への広報 ---------- 4
（2）ホームページによる広報---------- 6
（3）報道機関による広報協力 ---------- 6
（4）地元サッカーチームによる広報協力---------- 7
（5）静岡県による広報協力 ---------- 8
（6）静岡県社会福祉協議会による広報協力---------- 8
（7）　赤い羽根若者向けプロジェクト～芸術系高等学校による広報協力 ---- 8
6　寄付依頼活動(募金活動) ---------- 8
（1）赤い羽根共同募金 ---------- 8
①　一般募金 ---------- 9
②　課題解決プロジェクト募金 ---------- 11
（2）地域歳末たすけあい募金 ---------- 12
（3）NHK 歳末たすけあい ---------- 12
7　新しい募金手法による寄付の受入(年間を通した寄付) ---------- 13
（1）社会貢献型自動販売機による寄付 ---------- 13
（2）物品による寄付 ---------- 13
（3）寄付つき商品による寄付 ---------- 14
（4）ネット募金 ---------- 15
（5）中央共同募金会受付の寄付(静岡県分) ---------- 15

第2　助成活動

1　共同募金による助成 ---------- 16
2　緊急等助成資金による助成 ---------- 17
（1）災害見舞金 ---------- 17
（2）災害ボランティアセンター設置・運営費助成(令和4年台風第8号災害) - 18
（3）災害ボランティア活動用機器整備事業 ---------- 18
（4）新型コロナ対策生活困窮者支援事業 ---------- 18

（5） 伊豆山地区復興コミュニティ支援事業 ---------- 18
（6） ウクライナ避難民静岡県緊急食支援事業 ---------- 19
3 助成効果の測定と実地監査の実施 ---------- 19
（1） 市町社会福祉協議会による地域福祉活動 ---------- 19
（2） 福祉施設機器整備（修繕含む） ---------- 19
（3） 広域活動団体による地域福祉活動 ---------- 19
第３ 新型コロナウイルス感染症への対応
1 コロナ禍での共同募金運動 ---------- 20
（1） コロナ禍での目標額（助成計画）の設定 ---------- 20
（2） 共同募金運動における感染症対策ガイドラインの改訂 ---------- 20
（3） 令和3年度共同募金による市町社会福祉協議会の地域福祉活動支援事業 - 20
2 新型コロナ対策全国キャンペーン参加事業 ---------- 20
（1） 新型コロナ対策生活困窮者支援事業 ---------- 20
3 ポスト・コロナ社会に向けた福祉活動応援キャンペーン参加事業 ---------- 21
（1） つながりワーカー養成及び実践活動支援実施事業 ---------- 21
第４ その他の活動
1 災害等準備金の状況 ---------- 22
2 災害義援金の状況 ---------- 23
3 共同募金以外の特定寄付金、指定寄付金の受入れと助成 ---------- 24
4 他団体助成事業の受託事務 ---------- 24
5 顕彰活動 ---------- 24

第3部 法人運営
第1 会務の運営
1 理事会 ---------- 26
2 評議員会 ---------- 27
3 監事監査 ---------- 28
4 評議員選任・解任委員会 ---------- 28
5 配分委員会 ---------- 28
6 本会開催の会議等 ---------- 29
第2 その他の会務の運営
1 関係機関との連携 ---------- 30
2 共同募金運動募金経費 ---------- 30
3 社会福祉法人指導監査 ---------- 30
第3 社会福祉法人静岡県共同募金会役員等名簿 ---------- 31

第1部　概　要

コロナ禍や相次ぐ台風災害下での“赤い羽根”共同募金運動

“赤い羽根”共同募金運動は、昭和22年に国民一人一人が助け合いの精神で取り組む「国民たすけあい運動」として開始され、募金ボランティアの尽力により、これまでの76回の運動で、静岡県内の寄付金総額は約319億円、助成総額は約282億円に上り、それぞれの時代における福祉課題を解決してきた。

近年は、コロナ禍による生活困窮者の増加など、新たな地域生活課題が顕在化するとともに、感染防止対策のために地域福祉・ボランティア活動が制約され、孤独・孤立の問題が深刻化している。また、多発する台風災害等で被災された方々への支援も大きな課題となっており、制度外ニーズへの対応も含めて、“赤い羽根”は時代の求める様々な支援に応える大きな役割を担っている。

1　募金状況

令和4年度は、令和4年9月14日付け厚生労働省告示第285号により、令和4年10月1日から翌年3月31日までの6カ月間、目標額を5億4500万円に定め、県内全域で運動を展開した。

長引くコロナ禍により従来の運動方法が制限されたほか、相次ぐ台風災害により多くの方々が被災され、募金ボランティアの皆さんの募金活動にも影響が出る苦しい運動となったが、感染症対策にも配慮しながら、多くのボランティアの皆さんとともに安全で安心できる運動に努めた。

募金活動では、戸別募金を中心に丁寧な説明を行うとともに、法人募金ではダイレクトメールの活用、課題解決プロジェクト募金、ネット募金、寄付物品の受入など新しい募金手法にも積極的に取り組んだ。

その結果、対前年比では▲1.4%の減少となったが、約5億799万円と5億円の大台を確保し、このような時だからこそ苦しんでいる方々を支援しようという県民の皆様の思いが集まった運動となった。

区分	目標額（円）	実績額（円）	達成率（%）	前年度比較	
				増減額(円)	比率(%)
一　般　募　金	341,557,000	313,991,356	92.0	1,258,488	100.5
（うち課題解決プロジェクト募金）	(5,452,000)	(7,747,810)	(142.2)	(2,989,642)	(162.9)
地域歳末たすけあい募金	182,177,000	176,520,220	96.9	▲4,526,986	97.5
NHK歳末たすけあい	21,266,000	17,487,166	82.3	▲4,275,493	80.4
合　計	545,000,000	507,998,742	93.3	▲7,543,991	98.6
前年度	540,000,000	515,542,733	95.5	6,546,453	101.3

（市町共同募金委員会別の実績額は別冊統計資料　5～9ページ）

2　助成状況

「つながりをたやさない社会づくり～あなたは一人じゃない～」をテーマに、高齢者を支える仕組みづくり、障害者が地域で生活するための福祉施設の機器整備、こどもを虐待から守る取り組み、ひきこもりからの回復を目指す取り組み、コロナ禍での生活困窮者を支援する取り組みなど、多様なニーズに即した助成を行うとともに、募金額の3%を災害対応のために積み立てた。

その結果、助成実績は、323件、4億4454万円余となり、福祉関係団体等の幅広い要望にすべて応えることができた。

区分	助成件数	助成額(円)	前年度比較		
			増減数	増減額(円)	比率(%)
一　般　募　金	219	252,440,361	6	▲20,248,657	92.6
地域歳末たすけあい募金	34	171,532,903	0	▲3,687,430	97.9
NHK歳末たすけあい	70	20,570,000	7	2,126,000	111.6
合　計	323	444,543,264	13	▲21,810,087	95.4
前年度	310	466,353,351	▲69	▲9,090,424	98.1

（助成実績は別冊統計資料　14～45ページ）

第2部　事業実施状況

近年、地域福祉課題が多様化、個別化、複雑化しており、新型コロナウイルスの影響により苦しむ人たちへの支援をはじめ、制度外ニーズ、社会的孤立への対応が求められている。また、令和3年7月に熱海市で発生した大雨による大規模な土石流災害をはじめ、近年相次ぐ大雨災害などへの災害対応が大きな社会的課題になってきている。

一方で、社会貢献活動の多様化等に伴い、近年は平成7年度をピークに募金額の減少が続くなど、共同募金を取り巻く課題も大きくなっている。

そこで、さらなる赤い羽根共同募金運動の推進を図るため、令和4年度は次の5本柱（重点方針）に沿って活動を展開した。

1　多様化する地域福祉課題に対する助成メニューの充実

既存の制度やサービスでは対応できない多様な地域福祉課題に対応するため、中央共同募金会が行う全国キャンペーンに呼応した「新型感染症の影響で生活に困窮する人たちを支援」する助成メニューを創設するなど、人に寄り添う“赤い羽根”らしい助成メニューを充実する。

〇コロナ禍で生活に困窮する人たちへの支援
〇こどもを孤立から守るための助成
〇「地域共生社会」の実現のための助成
〇身近な福祉課題を解決するための助成

2　多様化する寄付ニーズに応える寄付方法の提案

〇募金増額に向け、「使いみちの見える化」により戸別募金の増強を図るとともに、課題解決プロジェクト募金、各種インターネット募金や遺贈・相続寄付など、新しい募金手法に挑戦する。
〇社会貢献に関心を寄せる企業に対して、地域共生社会づくりにつながるＳＤＧｓの趣旨に即した寄付、寄付つき商品（募金百貨店）、社会貢献型自動販売機設置、企業や従業員からの寄付、物品寄付など、多様化する寄付ニーズに適切に応える寄付の方法を提案する。
〇新型コロナ感染症対策ガイドラインに基づいた安全・安心な募金活動を行う。

3　頻発する災害への対応力強化

昨年７月に大雨による大規模な土石流災害が熱海市で発生するなど、近年頻発する地震や風水害等の災害を受け、地域の災害への対応力強化のため、災害等準備金、緊急等助成資金を活用した災害ボランティアセンターに係る助成、災害ボランティア活動に備えた活動用の機器整備助成を通じた協力体制づくりの支援、災害義援金の募集や被災地復興コミュニティ支援など、被災地支援の充実強化を図る。

4　赤い羽根の知名度を活用した積極的な広報の推進

助成先での赤い羽根ロゴマークの掲出、助成メニューへの“赤い羽根”の冠化、広報用ＤＶＤの活用、マスコミへの資料提供など、「赤い羽根」の知名度を活用した積極的な広報に努める。

5　社会福祉協議会との連携強化と開かれた組織の推進

〇募金活動及び助成活動で大きな役割を果たしている県及び市町の社会福祉協議会との情報交換を密にして、共同募金運動の活性化や運用改善に取り組む。
〇運動性の再生を図るため、自らも機能強化を図るとともに、市町共同募金委員会の組織の強化などを支援する。
〇経営組織のガバナンス強化、事業運営の透明性を図り、寄付者に信頼される開かれた共同募金会を目指す。

第１　募金活動

共同募金は、地域福祉活動を進めるため、あらかじめ使いみち（助成計画）や目標額（募金計画）を定めて行う計画募金である。そのため社会的ニーズに即した助成要綱を定め、広く要望を取りまとめたうえで、助成計画及び募金目標額を定めて募金活動を展開した。

1　社会的ニーズの把握

（1）県及び市町社会福祉協議会との連携

① 共同募金の実施に先立ち、静岡県社会福祉協議会に対して、社会福祉法第119条の規定に基づき、目標額、助成の範囲等に対する意見を求めた。

② 市町社会福祉協議会は、地域福祉活動の主たる実施主体として地域福祉活動計画等を定め、地域ニーズに即した活動を積極的に展開しており、活動財源としての共同募金の役割も大きいことから、常に連携を図り共通認識の形成に努めた。

（2）助成施設団体等との意見交換

助成先が抱える福祉課題について、共同募金の助成を通じて課題解決が図られるよう、実地調査等の際に意見交換を行い、現状と将来展望の把握に努めた。

（3）行政機関との意見交換

最近の行政施策の動向、施設整備等の補助制度の内容等について、行政機関と意見交換を行い、公的支援制度で対応できない諸課題について情報収集に努めた。

2　助成要綱の制定

助成要綱は、共同募金の基礎となるものであるため、社会的ニーズに合わせて見直し（既存メニューの修正、新規メニューの追加など）を行い、助成基準の明確化、助成事例の例示など寄付者と助成先の双方に分かりやすい内容とした。

また、透明性、客観性、公平性を確保するため、助成対象となる活動主体、内容、対象経費等の助成条件、応募方法、審査方法等について、配分委員会の意見を踏まえたうえで制定した。

3　助成申請の受付

助成申請の募集では、助成情報の広報に努め、偏りのない幅広い助成先の掘り起こしに努めた。

主な申請受付期間	令和4年4月1日（金）～5月13日（金）

（広報方法）

（1）助成要綱・要領を広く県民が閲覧できるよう、ホームページで公表

（2）市町社会福祉協議会、社会福祉法人、特定非営利活動法人等に助成案内を直接送付

（3）静岡県ボランティア協会、静岡県社会福祉協議会、男女共同参画センターあざれあ、ふじのくにNPO活動支援センターに、ホームページ及びメールマガジンなどへの掲載依頼

（4）市町共同募金委員会ではそれぞれの地域で助成説明会を開催

4　助成計画の策定と目標額の設定

（1）助成申請を基に助成計画を策定し、これに経費を加え募金目標額とした。令和4年度は、前年度の募金総額の伸び率や新型コロナウイルス感染症の影響も考慮して5億4500万円とし、配分委員会の承認後、7月15日の理事会で決定した。

（2）社会福祉法第119条に基づき、募金の目標額、受配者の範囲、配分方法を、9月30日付けの官報で公告した。

■令和4年度共同募金　申請状況･助成計画･目標額　　（単位:千円）

募金区分	申請状況		助成計画 ①	経　費 ②	目標額 (①+②)
	件数	申請額			
一般募金	109	272,340	282,270 《273,180》	68,377	341,557
地域歳末 たすけあい募金	34	176,801	176,801 《176,801》	5,376	182,177
NHK歳末 たすけあい	申請受付期間 9月1日～10月31日		32,855 《20,468》	798	21,266
計	143 (151)	449,141 (449,236)	491,926 《470,449》 (481,043)	74,551 (74,551)	545,000 (540,000)

《　》書き:助成計画のうち募金が必要な額(積立金取崩等、既に財源があるものを除く)
(　)書き:前年度実績

（助成計画、市町別目標額は別冊統計資料　2～3ページ）

5　広報活動

(1) 県民全体への広報

① 街頭キャンペーン活動

共同募金運動への理解を深めるため、運動初日の10月1日(土)の午前11時～11時30分に新静岡セノバけやき通り口において、会長及び副知事等による街頭キャンペーンを実施した。新型コロナウイルス感染症対策として、目的を募金活動から運動開始のPRに重点を置き、「感染症対策ガイドライン」に基づいた感染予防対策を行い、少人数での街頭キャンペーンとした。

街頭キャンペーン募金実績	29,831 円	（前年度は街頭キャンペーン未実施）

静岡英和女学院高等学校生徒会の募金ボランティア

静岡豊田幼稚園園児の募金ボランティア

② 27市町共同募金委員会においても、10月1日の運動開始以降、駅や繁華街等において、福祉団体関係者、ボランティアによる街頭募金等の宣伝活動を行い、延べ115か所(前年比127%)で実施した。

(例)東日本旅客鉄道(株)の承認を受け、10月～12月の4日間、伊東駅構内及び熱海駅構内で街頭募金を実施

③「使いみちの見える化」を図り新たな募金につなげるため、運動開始前に本年度申請事業の内容と昨年度の助成先を紹介する市町版各戸配布チラシを全戸配布(又は回覧)し、赤い羽根共同募金の意義と必要性をアピールした。

特に助成金の7割以上を活用している市町社会福祉協議会が行う助成事業を中心に掲載し、赤い羽根共同募金が身近な地域福祉活動に役立っていることを広報した。

④「広報用ビデオ」を自治会･町内会の募金の協力依頼や民生委員への理解促進、募金ボランティア研修などに幅広く活用し、赤い羽根共同募金の周知に努めた。

⑤ 各種資材を活用し、各世帯、企業、学校などへの広報活動を実施した。

	資 材 名	作成･購入数	備　考
本会作成・購入	赤い羽根(シール･針)	1,614,000本	各世帯用(購入)
	ポスター(静岡県版 B2･B3･A2)	12,250枚	各所掲出用(作成)
	若者向け壁新聞	2,100枚	各中学･高校掲出用(作成)
	赤い羽根共同募金への寄付と税制優遇(A4 三つ折り)	32,100枚	寄付者用(作成)
	市町版各戸配布用チラシ(A4)	618,900枚	各世帯用(作成)
	法人開拓用チラシ(A4)	18,800枚	企業用(作成)
	全県版チラシ(A3)	3,300枚	一般用(作成)
	課題解決プロジェクト募金団体チラシ(A4)	15,250枚	〃　(作成)
	課題解決プロジェクト募金参加団体一覧チラシ(A3)	3,600枚	〃　(作成)
	募金ボランティアバッジ	3,000個	募金ボランティア用(購入)
	ボランティア活動の手引き(A4 三つ折り)	26,500枚	〃　(作成)
	募金ボランティア委嘱状(A5)	2,600枚	〃　(作成)
	静岡県知事名挨拶状(A4)	9,750枚	企業用(作成)
	静岡県商工会議所連合会会長･商工会議所会頭連名挨拶状(A4))	52,770枚	15商工会議所会報誌に同封(作成)
	静岡県商工会連合会会長･商工会会長連名挨拶状(A4)	8,130枚	12商工会(作成)
	市町共同募金委員会会長名領収書(冊子型)	48,360枚	戸別等市町共募領収書(作成)
	市町共同募金委員会会長名領収書(バラ型)	19,515枚	〃　(作成)
	静岡県共同募金会会長名領収書(冊子型)	58,410枚	法人等税控除用領収書(作成)
	静岡県共同募金会会長名領収書(バラ型)	15,360枚	〃　(作成)
	払込取扱票	23,000枚	ゆうちょ銀行振込用(作成)
	赤い羽根共同募金助成シール(大)	5, 000枚	助成先用(作成)
	赤い羽根共同募金助成シール(小)	5, 000枚	〃　(作成)
中央共募作成	企業向パンフレット	1,702冊	企業用(購入)
	基礎パンフレット(赤い羽根リーフレット)	491冊	一般用(購入)
	子ども向パンフレット	793冊	学校用(購入)
	壁新聞(B2)	1660枚	〃　(購入)
	赤い羽根ブランドブック	110冊	一般用(購入)
	学校募金ハンドブック(全国版)(12 頁)	8,000冊	学校用(購入)
	子ども用ワッペン(ドラえもん)	12,620個	〃　(購入)
	子ども用クリアファイル	4,670枚	〃　(購入)
	募金バッジ	327個	寄付者用(購入)
	エコバッグ	100個	募金ボランティア用(購入)
	ボールペン	1,445本	〃　(購入)
	赤い羽根ステッカー	10枚	各所掲出用(購入)
	募金箱用チラシ	452枚	一般用(購入)
	スタンド式募金箱	7個	〃　(購入)
	スタンド式募金箱(脚のみ)	8個	〃　(購入)
	街頭肩掛募金箱	13個	街頭用(購入)
	卓上募金箱	230個	一般用(購入)
	職域募金箱	2,915個	〃　(購入)
	組立式募金箱(ドラえもん)	55,740個	学校用(購入)
	募金箱用チェーン	185本	募金箱用(購入)
	募金箱用鍵	43個	〃　(購入)
	旗布のみ	35枚	〃　(購入)
	スタッフジャンパー	2枚	街頭用(購入)
	プレミアム赤い羽根バッジ	47個	県共同募金会役職員用(購入)
	プレミアム赤い羽根バッジ	15個	市町共同募金委員会用(購入)
	寄付つきプレミアム赤い羽根バッジ	384個	寄付つき商品用(購入)
	寄付つきクオカード	2824枚	〃　(購入)
	寄付つき図書カード	1,436枚	〃　(購入)

（2） ホームページによる広報

ホームページを活用し、共同募金運動の実施状況や助成情報を提供するとともに、寄付者への感謝と募金の「使いみちの見える化」に努めた。

① 助成情報の周知（助成要綱、申請用紙などをダウンロードできる仕組み）
② 助成を受けた施設・団体からの「ありがとうメッセージ」を公開
③ 学校や企業・団体による寄付金贈呈、寄付に対する感謝状贈呈や募金ボランティアに対する表彰状贈呈を掲載
④ 募金箱を設置しているスーパーマーケットやイベント募金に取り組む企業等を取材し、企業の社会貢献活動をアピール
⑤ 課題解決プロジェクト募金の参加団体が掲げるテーマとその目標額・実績額（随時更新）を掲載し、インターネットから寄付ができる仕組みを強化
⑥ 中央共同募金会とリンクして、全国キャンペーンや共同募金に関する情報を発信
⑦ 助成先のホームページに共同募金のバナーをつけることを促しリンクを強化

（3） 報道機関による広報協力

① 9月15日及び22日、会長及び常務理事が民放テレビ局（4局）、新聞社（1社）、日本放送協会静岡放送局の代表者を訪問し、共同募金運動及び助成先の報道、プレミアム赤い羽根バッジ販売の広報などについて、直接協力依頼を行った。

その結果、次のとおり、共同募金運動の開始や様々な使いみち等について報道された。

■テレビ・ラジオ報道（把握分）

放送局名	番組名	内容	放送日
日本放送協会静岡放送局（NHK）	たっぷり静岡	ウクライナ避難民緊急食支援事業 第１回食品贈呈式	4/18
		赤い羽根ふじのくに夏休みこども食堂支援セット贈呈式	8/9
		台風第15号災害義援金募集開始	9/29
		NHK 歳末たすけあいオープニングセレモニー	12/1
	ニュースしずおか645	しずおか言友会「しずおか吃音のつどい」	9/18
		10/1 街頭キャンペーン	10/1
静岡第一テレビ（SDT）	news every.しずおか	静岡缶詰協会からのウクライナ避難民緊急食支援事業食品贈呈式	6/3
		赤い羽根ふじのくに夏休みこども食堂支援セット贈呈式	8/11
	news every.サタデー	しずおかキッズカフェ「こども食堂への支援」	10/8
	FRONT zero	10/1 街頭キャンペーン	10/1
静岡放送（SBS）	SBSサタデーニュース	10/1 街頭キャンペーン	10/1
	お買いものいいね！	静岡缶詰協会からのウクライナ避難民緊急食支援事業食品贈呈式	6/7
静岡朝日テレビ（SATV）	とびっきり！しずおか	静岡缶詰協会からのウクライナ避難民緊急食支援事業食品贈呈式	6/1
		赤い羽根ふじのくに夏休みこども食堂支援セット贈呈式	8/9
	とびっきり！しずおか土曜版	10/1 街頭キャンペーン	10/1
テレビ静岡（SUT）	県内ニュース	ウクライナ避難民緊急食支援事業 第１回食品贈呈式	4/18
		静岡缶詰協会からのウクライナ避難民緊急食支援事業食品贈呈式	6/1
		10/1 街頭キャンペーン	10/1
	チョッと！いいタイム	赤い羽根ふじのくに夏休みこども食堂支援セット贈呈式	9/8
シティエフエム静岡（FM－Hi！）	ひるラジ！静岡情報館	オールしずおかベストコミュニティ「課題解決プロジェクト募金の紹介」	2/9
		静岡県ボランティア協会「課題解決プロジェクト募金の紹介」	3/23
計	21件		

■新聞報道(把握分)

新聞名	内容	掲載日
静岡新聞	助成金交付説明会	4/1
	ウクライナ避難民緊急食支援事業 第１回食品贈呈式	4/19
	知事報告(4/25)	4/26
	課題解決プロジェクト募金の紹介(県社協)	5/31
	静岡缶詰協会からのウクライナ避難民緊急食支援事業食品贈呈式	6/2
	清水南高校生徒への感謝状贈呈(赤い羽根若者向けプロジェクト)	7/4
	清水南高校生徒の知事表敬訪問(赤い羽根若者向けプロジェクト)	7/28
	災害ボランティア活動用機器整備事業での覚書締結(富士市社協)	7/31
	赤い羽根ふじのくに夏休みこども食堂支援セット贈呈式	8/11
	災害ボランティア活動用機器整備事業での覚書締結(県社協)	9/4
	災害ボランティア活動用機器整備事業での覚書締結(伊豆の国市社協)	9/21
	台風第15号災害義援金の募集開始	9/29
	10/1 街頭キャンペーン	10/2
	清水第三中への共同募金運動推進横断幕寄贈(静岡市共同募金委員会)	10/31
	寄付金贈呈式(静岡英和女学院生徒会・同窓会)	11/21
	厚生労働大臣感謝状贈呈式(生活協同組合ユーコープしずおか県本部)	12/9
	寄付金贈呈(清水銀行→静岡市共同募金委員会)	12/13
	寄付金贈呈(立正佼成会清水教会→静岡市共同募金委員会)	12/23
	課題解決プロジェクト募金の紹介(菊川市社協)	1/14
	厚生労働大臣表彰状伝達(清水銀行)	2/5
	課題解決プロジェクト募金の紹介(県社協)	3/3
	課題解決プロジェクト募金の紹介(湖西なろっぷスクール)	3/22
	地域福祉活動支援事業(広域団体)の紹介(補助犬支援センター)	3/25
	助成金交付説明会	3/30
中日新聞	ガチャガチャ募金箱の設置(磐田市共同募金委員会)	4/1
	ウクライナ避難民緊急食支援事業 第１回食品贈呈式	4/19
	静岡缶詰協会からのウクライナ避難民緊急食支援事業食品贈呈式	6/3
	課題解決プロジェクト募金の紹介(湖西なろっぷスクール)	3/23
毎日新聞	静岡缶詰協会からのウクライナ避難民緊急食支援事業食品贈呈式	6/1、6/3
	赤い羽根ふじのくに夏休みこども食堂支援セット贈呈式	8/11
読売新聞	静岡缶詰協会からのウクライナ避難民緊急食支援事業食品贈呈式	6/2
日本経済新聞	静岡缶詰協会からのウクライナ避難民緊急食支援事業食品贈呈式	6/2
富士ニュース	災害ボランティア活動用機器整備事業での覚書締結(富士市社協)	7/27
計	34件	

② 中央共同募金会制作の運動啓発用のテレビスポット、ラジオスポットを各放送局(民間テレビ4局・ラジオ1局、ケーブルTV11局、コミュニティFM8局、インターネットラジオ1局)に提供し、報道協力を得た。

(4) 地元サッカーチームによる広報協力

平成22年度からJリーグの清水エスパルスとジュビロ磐田の協力により、マスコットキャラクター(パルちゃん＆ジュビロくん)の写真提供を受け、独自ポスターを制作している。

令和4年度は、「やさしさの羽根で 絆が広がる。」をキャッチコピーに、ポスター12,250枚を制作し、町内会・自治会の掲示板、公共施設や地方銀行(静岡銀行(180枚)、清水銀行(80枚)、スルガ銀行(電子掲示板))などに掲出し啓発を行った。

令和4年度ポスター

（5）静岡県による広報協力
① しずおか県民だより10月号の「情報ひろば」において、運動開始の告知が掲載された。
② 県庁にのぼり（3箇所）が掲出され、募金箱（3個）が設置された。また、県庁西館3階・5階、健康福祉センター（7 箇所）にポスターが掲出された。
③ SBSラジオの「県庁ニュース ふじのくに！」で、赤い羽根共同募金運動の実施について県職員が周知・協力を呼び掛けた。

（6）静岡県社会福祉協議会による広報協力
静岡県社会福祉協議会機関紙「社会福祉しずおか“むすぶつなぐ”10月号」に、赤い羽根共同募金運動をテーマとした特集記事が掲載され、「赤い羽根若者向けプロジェクト」の取り組みや、「地域共生社会づくりモデル事業」の取り組み等が紹介された。（11,300部 県内福祉施設、団体、民生委員児童委員、企業、県内小中高等学校等に配付）

（7） 赤い羽根若者向けプロジェクト～芸術系高等学校による広報協力
次代を担う若者に、赤い羽根共同募金運動を通じて福祉に関心をもってもらい、若者自らが「じぶんの町を良くするため」に、学校で学んだスキルを活かして共同募金運動に協力してもらうことを目的として、「赤い羽根若者向けプロジェクト」を新たに実施した。

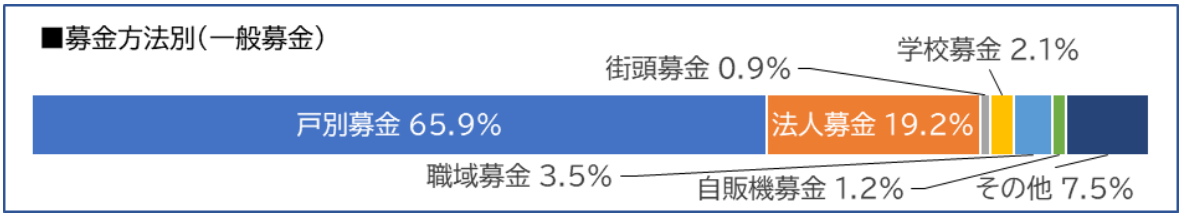
① 令和3年度に県立清水南高等学校芸術科美術専攻の生徒4名がデザイン制作を行った作品を、令和4年度の広報用資材に使用した。このうち、「若者向け壁新聞」は4月に県内全中学・高校へ配付し、「全県版チラシ」、「法人開拓用チラシ」、「市町版各戸配布用チラシ」、「ボランティア活動の手引き」は8月以降の周知活動等で使用した。
② 令和4年度は県立駿河総合高等学校総合学科デザイン系列の生徒49名がデザイン制作に取り組み、うち5作品を選定した。選定した作品は、令和5年度の広報用資材に使用することとしている。

令和4年度若者向け壁新聞

6 寄付依頼活動（募金活動）

（1） 赤い羽根共同募金（令和4年10月1日～令和5年3月31日の6カ月間）
社会福祉協議会や広域活動団体が行う地域福祉活動支援事業、社会福祉施設の機器整備、こども食堂誕生日会・福産品応援事業などに対する助成を行うため、各市町の区域ごとに戸別、法人、学校募金等の募金活動を実施した。
また、参加団体が課題解決を呼び掛ける課題解決プロジェクト募金（使いみちを選べる募金）、ネット募金、社会貢献型自動販売機の設置、寄付つき商品（募金百貨店）の提案、寄付物品の受け入れなど新しい募金手法にも挑戦した。
今年度も、コロナ禍の収束が見通せないなか、従来の運動方法が制限された運動となったが、感染症対策ガイドラインを改訂し、多くの募金ボランティアの皆さんと安全で安心な運動に努めた。

区分	目標額（円）	実績額（円）	達成率（%）	前年度比較	
				増減額（円）	比率（%）
一 般 募 金	341,557,000	313,991,356	92.0	1,258,488	100.5
（うち課題解決プロジェクト募金）	（5,452,000）	（7,747,810）	（142.2）	（2,989,642）	（162.9）



■募金方法別の分析

募金方法	対 応	募金額前年比	内 容	
戸別募金	・全世帯へ協力依頼チラシの配布回覧 ・積極的な広報によりマスコミでの露出度を高める	99.3%	→	自治会・町内会の協力により、前年並となった
法人募金	・振り込みによる寄付の推奨(非接触型) ・商工会議所等の経済団体に直接協力依頼	99.6%	→	民生委員の協力により、前年並となった
街頭募金	・目的を募金から PR に変更 ・衛生面に配慮した運動であることを周知	221.1%	↗	実施した組織・団体が増え、募金実績も大幅に増加
学校募金	・教育委員会、高等学校長協会の会議で協力依頼 ・学校募金ハンドブックの活用依頼	87.5%	↘	高校生徒会などで運動を展開するも苦戦
職域募金	・共同募金の必要性を丁寧に説明 ・WEB 募金箱の提案	94.0%	→	静岡県庁などで前年を上回り、ほぼ前年並となった

① 一般募金(令和4年10月1日～12月31日)

戸別募金、法人募金、学校募金、職域募金などによる円滑な募金活動を推進するため、募金推進団体開催の会合等に出向き、募金活動への積極的な協力を依頼した。

ア 知事への報告及び協力依頼

令和3年度の募金・助成活動の報告、10月1日からの令和4年度の運動への協力依頼を行った。

月日	内容	出席者
令和4年4月25日(月)	令和3年度の募金・助成活動の報告等	会長、常務理事他

イ 戸別募金増強に向けて ―自治会連合会へお礼と協力依頼―

月日	主催	会議名
令和4年6月29日(水) 令和5年2月22日(水)	静岡県自治会連合会	理事会

ウ 法人募金増強に向けて ―各団体へお礼と協力依頼―

■静岡県、政令市民生委員児童委員協議会

月日	主催	会議名
令和4年5月12日(木)	静岡市民生委員児童委員協議会	理事会
令和4年5月16日(月)	静岡県民生委員児童委員協議会	理事会
令和4年6月8日(水)	静岡県民生委員児童委員協議会	総会
令和4年6月21日(火)	浜松市民生委員児童委員協議会	評議員会
令和4年9月28日(水)	静岡県民生委員児童委員協議会	法定地区会長研修会
令和5年3月16日(木)	静岡県民生委員児童委員協議会	理事会

■経済・産業関係団体

月日	主催	会議名
令和4年7月29日(金)	静岡県商工会連合会	訪問依頼※1
令和4年8月5日(金)	(一社)静岡県商工会議所連合会	専務理事・事務局長会議※2
令和4年9月6日(火)	(一社)静岡県医師会	訪問依頼※3
令和4年9月8日(木)	静岡県中小企業団体中央会	訪問依頼※4
令和4年10月27日(木)	(一社)静岡県建設業協会	理事会※5

※1 静岡県商工会連合会会長及び商工会会頭の連名による「共同募金協力に係る挨拶状」を活用し、市町共同募金委員会が当該商工会の会員に対し、社会貢献メニューとしての共同募金への協力を呼びかけた。

※2 静岡県商工会議所連合会会長及び商工会議所会頭の自署による「共同募金協力に係る挨拶状」を県内商工会議所が発行する会報誌に同封(一部印刷)して、会員に対して社会貢献メニューとしての共同募金への協力を呼びかけた。

※3 静岡県共同募金会会長の自署による「赤い羽根共同募金のご協力のお願い」を静岡県医師会が発行する会報誌に掲載して、会員に対して社会貢献メニューとしての共同募金への協力

を呼びかけた。

※4 静岡県中小企業団体中央会に「赤い羽根共同募金のご協力のお願い」のホームページへの掲載や会員に対しての共同募金への協力を依頼した。また、職域募金の協力を呼びかけた。

※5 静岡県建設業協会の協力により、会員企業に対して社屋・建設工事現場等への「社会貢献型自動販売機」の設置を呼びかけた。また、静岡県建設業協会のホームページに、本会からの寄付依頼、「社会貢献型自動販売機」設置協力依頼、法人開拓用チラシを掲載した。

■金融機関

月日	対象	内容
令和4年8月18日(木)～30日(火)	県内地方銀行3行	・職域募金 ・手数料免除 ・プレミアム赤い羽根バッジ購入依頼
令和4年8月25日(木)	県民共済生活協同組合	・職域募金 ・プレミアム赤い羽根バッジ購入依頼

エ 企業団体等への募金の依頼

■募金箱の設置推進と募金実績(募金箱・職域募金、自動販売機を含む)

依　頼　先	件数	設置期間	寄付金額(円)	備考
国の出先機関	130	10月～3月	32,001	
静岡県庁	900	10月～3月	1,365,926	一般募金 989,873 円 NHK歳末 376,053 円
静岡県庁売店	1	年間	0	
(株)サンコートラベル	1	年間	0	
静岡県教育会館	1	年間	7,458	
ふじのくに健康福祉キャンペーン構成団体	90	10月～3月	79,494	
静岡県内の郵便局	417	10月～3月	346,162	
(公財)静岡市まちづくり公社	1	年間	4,673	
(株)エスパルス(S-PULSE STORE 他)	1	10月～12月	1,587	
	15	年間	112,688	
真如苑(静岡精舎、浜松支部)	2	年間	200,597	
富士山静岡空港　受付カウンター	1	年間	0	
全日本空輸(株)静岡空港所	1	10月～12月	0	
(株)静岡銀行	180	10月～11月	340,219	
	156	年間	815,458	
静銀リース(株)	1	10月～12月	24,324	
(株)静岡鉄道(静鉄ホテルプレジオ)	3	年間	6,216	
	26	年間	147,610	
静岡県中小企業団体中央会	1	年間	6,825	
(一社)静岡県医師会	1	年間	10, 000	
明光会　Trois～トロワ～	1	年間	0	
(株)カツマタ建設	1	10月～12月	0	
(宗)宝泰寺	1	10月～12月	0	
静岡県労働金庫	1	10月～12月	0	
	1	年間	23,858	
(株)エンチョー	54	10月～12月	143,157	県内 121,971 円 県外　21,186 円
(株)オークワ	2	10月～12月	5,693	
(株)静鉄ストア	33	10月～12月	141,228	
(株)遠鉄ストア	32	10月～12月	130,000	
(株)ヒバリヤ	7	10月～12月	12,928	
(株)タカラ・エムシー(フードマーケット マム)	39	10月～12月	170,791	
(株)ユーマート	8	年間	0	

依　頼　先	件数	設置期間	寄付金額(円)	備考
生活協同組合ユーコープ	18	12月	3,157,755	うち、社会的養護のこどもへ 3,038,582円
沓間水産(株)(沼津魚がし鮨)	20	年間	14,000	
静岡県麺類業生活衛生同業組合	12	10月~12月	2,400	
静岡県社交飲食業生活衛生同業組合	16	10月~12月	0	
静岡県飲食業生活衛生同業組合	1	10月~12月	3,050	
静岡県鮨商生活衛生同業組合	22	10月~12月	12,358	
静岡県料理業商生活衛生同業組合	1	10月~12月	0	
静岡県理容生活衛生同業組合	27	10月~12月	18,850	
静岡県美容業生活衛生同業組合	4	10月~12月	14,529	
静岡県ホテル旅館生活衛生同業組合	1	10月~12月	833	
静岡県書店商業組合	13	年間	9,365	
(株)戸田書店	6	年間	36,853	
(株)谷島屋	18	年間	24,820	
(株)江崎書店	3	年間	0	
MARUZEN&ジュンク堂	1	年間	0	
計(43)	2,272		7,423,706	
前年度(48)	2,403		7,626,378	

※二段書き:上段は募金箱・職域募金、下段は自動販売機

オ　組立式募金箱、職域募金箱、街頭肩掛募金箱など5種類の募金箱57,661個(前年度61,688個)を市町共同募金委員会を通じて無償で配布し、自発的寄付の環境を整えた。

カ　学校募金への取り組み依頼

学校募金ハンドブック(静岡県版)を県内の小学校・中学校・高等学校に4冊ずつ(計7,400冊)配付し、教育活動の一環としての共同募金運動に取り組むよう依頼した。

月日	主催	対象
令和4年4月8日(金)	静岡市教育委員会	静岡市校長会(理事会)
令和4年5月31日(火)	静岡県高等学校長協会	県高等学校長協会(理事会)
学校募金ハンドブックの配付を依頼	浜松市教育委員会	市立小、中学校長
	静岡市教育委員会	市立小、中学校長
	静岡県私学協会	学校法人理事長・校長
	静岡県教育委員会	市町教育委員長・教育長(政令市含む)
		公立小、中学校長(政令市除く)
		公立高等学校、特別支援学校長(市立高含む)

② 課題解決プロジェクト募金(令和5年1月1日~3月31日)

課題解決プロジェクト募金は、地域の福祉課題をテーマに持つ団体が、共同募金会と協働して、課題を解決する必要性を広くアピールしながら、自ら募金の協力を呼び掛けるもので、寄付者にとっては「使いみちを選択できる」新たな募金の仕組みである。

テーマに寄せられた寄付金は、共同募金会から当該団体の支援活動に全額助成(事務経費:本会経費 2%、クレジットカード手数料 3%を除く)され、課題解決へとつながる財源として活用された。

No	団体名	テーマ	目標額(円)	寄付件数	実績額(円)	助成額(円)
1	社会福祉法人 菊川市社会福祉協議会	あなたが支える移動支援サービス事業	1,017,000	111	490,491	479,782
2	特定非営利活動法人 POPOLO	静岡 POPOLO ハウス事業	294,000	28	150,648	147,036
3	特定非営利活動法人 てくてく	ひきこもり当事者と家族の居場所づくり事業	307,000	29	287,648	281,866

No	団体名	テーマ	目標額（円）	寄付件数	実績額（円）	助成額（円）
4	特定非営利活動法人 サンフォレスト	ひきこもり支援・相談スタッフ養成講座開催事業	200,000	30	177,648	173,916
5	社会福祉法人 静岡いのちの電話	中高生に「いのちの電話カード」配布事業	194,000	37	159,647	156,425
6	社会福祉法人 浜松いのちの電話	若者こころの支援事業	273,000	27	246,647	240,485
7	社会福祉法人 静岡県社会福祉協議会	児童養護施設等退所児童への就学等支援事業	1,021,000	74	4,836,076	4,734,615
8	特定非営利活動法人 湖西なろっぷスクール	次代を担う自立した心豊かな青少年を育成する事業	868,000	142	360,648	353,076
9	特定非営利活動法人 静岡県補助犬支援センター	身体障害者補助犬育成事業	562,000	147	596,039	583,969
10	特定非営利活動法人 オールしずおかベストコミュニティ	障がいのある人の自立を考えるみんなの集い事業	154,000	12	84,969	83,270
11	特定非営利活動法人 静岡県ボランティア協会	若者と学ぶ共生社会づくり事業	562,000	50	357,349	350,053
計　(11)			5,452,000	687	7,747,810	7,584,493
前年度(12)			6,004,000	710	4,758,168	4,648,285

（詳細は別冊統計資料　35ページ）

（2）地域歳末たすけあい募金（令和4年12月1日から12月31日までの1カ月間）

市町社会福祉協議会が実施する地域歳末支援事業のため各市町の区域ごとに戸別、法人募金等の募金活動を実施した。

区分	目標額(円)	実績額(円)	達成率（%）	前年度比較	
				増減額(円)	比率(%)
地域歳末たすけあい募金	182,177,000	176,520,220	96.9	▲4,526,986	97.5

（3）NHK歳末たすけあい（令和4年12月1日から12月25日までの25日間）

日本放送協会、中央共同募金会、NHK厚生文化事業団が、生活困窮者等の年末年始支援、児童養護施設等利用者の就職等自立支援を行うために72回目の募金活動を行った。

① 日本放送協会静岡放送局は、テレビ番組やラジオ放送の中で募金活動を呼び掛けるとともに、静岡放送局に募金受付窓口を設けた。

② 中央共同募金会を通じて寄付経験者に寄付依頼のダイレクトメールを発送した。

③ 運動初日に、静岡精華幼稚園の協力を得て、静岡放送局、日本赤十字社静岡県支部（NHK海外たすけあい）とともに募金受付窓口オープニングセレモニーを行った。

区分	目標額（円）	実績額（円）	達成率（%）	前年度比較	
				増減額(円)	比率(%)
NHK歳末たすけあい	21,266,000	17,487,166	82.3	▲4,275,493	80.4

■受付状況

受付窓口		件数	寄付額(円)	内　訳		
				取り扱い	件数	寄付額(円)
中央共同募金会		966	12,332,245	県下各郵便局、信用金庫ほか		
	日本放送協会静岡放送局	76	730,894			
	静岡県共同募金会	258	4,424,027	地方銀行3行扱い	29	751,445
				農協扱い	17	88,447
				漁協扱い	1	10,000
				事務局扱い 他	211	3,574,135
県内窓口		334	5,154,921			
計		1,300	17,487,166			
前年度		1,509	21,762,659			

7 新しい募金手法による寄付の受入(年間を通した寄付)

(1) 社会貢献型自動販売機による寄付

売り上げの一部が共同募金に寄付される清涼飲料水自動販売機の設置を推進した。(50音順)

飲料会社・業者	設置台数	寄付額(円)
アサヒ飲料販売(株)	3	18,405
アシード(株)静岡営業所	1	10,536
(株)アペックス	2	46,421
(株)伊藤園	50	661,169
(株)エムシーフードサービス	1	42,000
(株)エル・アイ・ビバレッジ	1	8,698
コカ・コーラ ボトラーズジャパン(株)	55	255,362
サントリービバレッジソリューション(株)	46	219,723
サントリーフーズ(株)	1	13,108
(株)栞堂	1	1,179
静岡塩業(株)	10	20,023
ダイドードリンコ(株)	162	1,267,637
中央静岡ヤクルト販売(株)	4	23,699
東海ビバレッジサービス(株)	74	529,209
ナショナル・ベンディング(株)	6	31,049
西静岡ヤクルト販売(株)	1	9,930
(特非)ハートフル福祉募金	15	363,383
(株)富士テレネット	16	8,919
フクロイ乳業(株)	1	3,039
ポッカサッポロフード&ビバレッジ(株)	6	24,887
ユニヴァーサル商事(株)	34	179,592
その他	9	12,922
計	499	3,750,890
前年度	505	3,997,465

※設置台数は、令和5年3月31日現在(設置先別台数一覧は別冊統計資料 13ページ)

(2) 物品による寄付

地元企業等の周年記念祝いの胡蝶蘭、社会貢献活動としての食品、買い替え等で過剰となった利用可能な備品などの物品を、積極的に共同募金に寄付として受け入れ、その物品を社会福祉施設等に助成するとともに、物品の評価額を寄付金として扱い、社会福祉事業等へ貢献する新しい募金手法として、企業の社会貢献活動の促進につなげた。

募金種別	寄付者	寄付物品	数量	寄付額(円)
一般募金	(株)静岡銀行	鉢植(胡蝶蘭)	5	150,000
	(株)静岡第一テレビ	鉢植(胡蝶蘭)	20	600,000
	(一社)静岡缶詰協会	食品(缶詰他)	1,667	184,543
	静岡県労働金庫浜北支店	備品(事務機器)	9	63,800
	アサヒ飲料(株)	飲料水(カルピス他)	8	26,880
	(一社)静岡缶詰協会	食品(缶詰他)	11,716	1,292,779
	(株)静岡銀行	鉢植(胡蝶蘭)	21	630,000
	(有)キムラ乳販	備品(事務機器他)	12	124,100
	(株)しずおかフィナンシャルグループ	鉢植(胡蝶蘭)	100	3,000,000
	(株)稲葉商店	鉢植(胡蝶蘭)	20	600,000
	(有)キムラ乳販	備品(冷凍庫)	1	82,500
	静岡県労働金庫浜松高台支店	備品(事務機器他)	116	780,860
	(株)静岡銀行	鉢植(胡蝶蘭)	25	750,000
	静岡県労働者福祉協議会	備品(事務機器他)	4	28,202
計		14件	13.724	8,313,664

募金種別	寄付者	寄付物品	数量	寄付額(円)
前年度		10 件	24.059	10,476,439

（助成一覧は別冊統計資料　26～34ページ）

（3） 寄付つき商品による寄付

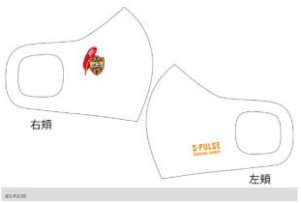
① 募金百貨店プロジェクト

募金百貨店は“赤い羽根”共同募金会が行う寄付つき商品を扱う仮想の百貨店である。募金百貨店への登録企業が企画・販売する“寄付つき商品”の売り上げの一部が赤い羽根共同募金に寄付され、県内の福祉活動の支援に役立てられる。

登録企業、購入者にとっては、地域社会に貢献するしくみとなるので、積極的に企業に提案している。

■令和4年度登録商品

	第1号
登録企業	(株)ジュビロ
登録商品	実店舗及びオンライン店舗で販売する全商品
寄付割合	売上金の一部を寄付
寄付金額	161,980 円
寄付先	一般募金
販売期間	令和4年10月1日～10月31日
販売場所	ジュビロショップ磐田、ジュビロショップサーラプラザ浜松、ジュビロ e-shop

	第2号		
登録企業	(株)エスパルス		
登録商品	エスパルス×赤い羽根 ピンバッジ(2種類) 	エスパルス×赤い羽根 マグネット(2種類) 	エスパルス×赤い羽根 マスク(2サイズ) 
価格／数量	770円(税込)	990円(税込)	1, 540円(税込)
寄付金額	240,000円		
寄付先	一般募金		
販売期間	令和3年10月15日～令和5年1月末		
販売場所	エスパルスオフィシャルオンラインストア、エスパルスストア(静岡市清水区)、ホームゲーム会場		

② プレミアム赤い羽根バッジによる寄付

共同募金のシンボルである「赤い羽根」に親しみを持っていただくとともに、共同募金運動の認知度を高めるために、平成29年度から寄付つき商品として「プレミアム赤い羽根バッジ」を取り扱い、着用を推進した。　【頒布価格】1,000円　【購入元】中央共同募金会

窓口	個数	寄付額(円)	備考
本会(ゆうちょ銀行払込等)	309	147,084	・寄付額476円×309個
静岡県庁(県職域募金)	118	56,168	・寄付額476円×118個
静岡県庁東館 2 階 喫茶ぴあ～	43	20,468	(福)明光會による窓口取扱業務の協力 ・寄付額476円×43個
計	384	182,784	
前年度	314	149,464	

③ その他の寄付つき商品による寄付　【頒布価格】1,000円　【購入元】中央共同募金会

寄付つき商品	枚数	寄付額(円)	備考
赤い羽根クオカード	2,824	1,084,416	寄付額384円×2,824枚
赤い羽根図書カード NEXT	1,436	572,964	寄付額399円×1,436枚

寄付つき商品	枚数	寄付額(円)	備考
計	4,260	1,657,380	
前年度	4,584	1,785,231	

（4） ネット募金

中央共同募金会のオンライン寄付サイトからクレジットカードによりネット募金が簡単に行えるように、本会ホームページの入力画面の簡素化を図った。

また、中央共同募金では、企業が作るオンライン寄付サイトから、様々な方法(クレジットカード、ポイント、仮想通貨、株主優待券等)で寄付できる仕組みづくりに取り組んだ。

募金種別	ネット募金の種類		件数	寄付額(円)
一般募金	中央共募オンライン寄付サイト	ふるさとサポート募金（クレジットカード）	129	1,025,306
	ローソン	ローソンチケットを利用した寄付、Loppi 募金(コンビニ支払)	-	61,161
	ファミリーマート	Fami ポート募金(コンビニ支払)	-	45,000
	株優サポートクラブ	株優サポートクラブによる寄付	2	15,520
	ソフトバンク	つながる募金(電話料金と同時支払)	-	6,441
	Yahoo！	Yahoo！ネット募金(クレジットカード)	-	3,860
	au ペイメント	ネット決済用プリペイドカードによる寄付	-	2,126
	メルカリ寄付	出品して得た商品の売上金による寄付	-	500
	Net Mile	種類の違うポイントをネットマイルにまとめて寄付	-	191
	小計		131	1,160,105
地域歳末たすけあい募金	Yahoo！	Yahoo！ネット募金(クレジットカード)	-	16,921
	小計		-	16,921
計			131	1,177,026
前年度			149	1,774,637

（5） 中央共同募金会受付の寄付(静岡県分)

全国の法人から中央共同募金会に寄せられた募金実績

寄 付 者	件数	寄付額(円)
日本中央競馬会	1	4,300,000
(株)マルハン ユニオン	1	812,174
(有)荒川ワークス	1	765,000
東京海上日動火災保険(株)	1	735,215
(株)ゆうちょ銀行	1	530,119
三菱電機ビルソリューションズ(株)	1	270,000
(一財)篠原欣子記念財団	1	200,000
アサヒ飲料(株)	1	100,000
(株)カインズ グループ会社	1	85,106
その他	26	357,419
計	35	8,155,033
前年度	31	5,454,787

第2　助成活動

年度当初に受け付けた施設・団体等（社会福祉協議会を含む）からの助成申請については、1月から2月にかけて配分委員会委員による実地調査を実施した上で助成案を策定し、配分委員会での承認を経て、3月13日の理事会において、次のとおり決定し助成した。（令和5年５月8日公告）

助成に当たっては、次の募金につなげるため、助成先に対して「感謝の気持ちの伝達」の徹底に努めた。

1　共同募金による助成

（1）　令和4年度共同募金による助成

令和4年度共同募金運動による寄付金等を財源に次の助成（4年度及び5年度実施事業）を行った。

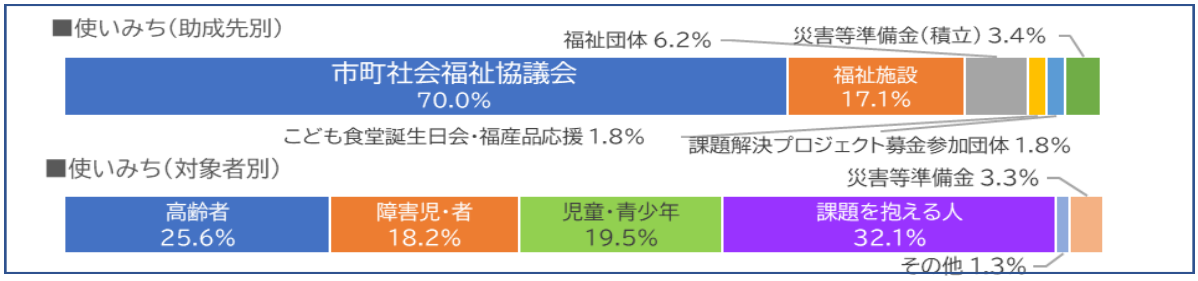
（単位：円）

区分	助成種別		助成先	件数	4年度実施事業助成額	5年度実施事業助成額	計
一般募金	地域助成	地域福祉活動支援事業	市町社会福祉協議会	35	0	135,947,204	135,947,204
	地域助成	小計		35	0	135,947,204	135,947,204
	広域助成枠	地域福祉活動支援事業	市町社会福祉協議会（機器整備）	4	0	3,187,000	3,187,000
			広域福祉活動団体	16	0	25,817,000	25,817,000
		福祉施設機器整備事業	社会福祉施設	38	0	48,311,000	48,311,000
		こども食堂誕生日会・福産品応援事業	障害者就労支援団体	2	0	8,000,000	8,000,000
		地域共生社会づくりモデル事業	市町社会福祉協議会	1	0	300,000	300,000
		災害等準備金	（積立）	—	0	14,880,000	14,880,000
		物品寄付ほか	社会福祉施設・団体	112	8,413,664	0	8,413,664
	広域助成枠	小計		173	8,413,664	100,495,000	108,908,664
	課題解決プロジェクト募金		参加団体	11	0	7,584,493	7,584,493
	計			219	8,413,664	244,026,697	252,440,361
地域歳末たすけあい募金	地域歳末たすけあい事業		市町社会福祉協議会	34	135,655,852	0	135,655,852
	地域福祉活動支援事業（翌年度分）		市町社会福祉協議会	(34)	0	35,877,051	35,877,051
	計			34	135,655,852	35,877,051	171,532,903
NHK歳末たすけあい	年末年始支援活動助成		福祉活動団体	19	1,550,000		1,550,000
	年末年始施設利用者支援助成		児童福祉施設、更生施設他	49	13,326,000		13,326,000
	就職等自立支援助成		児童養護施設協議会、里親連合会	2	0	5,694,000	5,694,000
	計			70	14,876,000	5,694,000	20,570,000
合計				323	158,945,516	285,597,748	444,543,264
前年度				310	154,111,072	312,242,279	466,353,351

【助成財源】

①令和4年度共同募金　②災害等準備金取崩金（平成30年度積立分）9,090,000円

（　）書きは市町社会福祉協議会の地域福祉活動支援事業、地域歳末たすけあい事業との重複件数



（詳細は別冊統計資料　14～43ページ）

2 緊急等助成資金による助成

平成27年度末に繰越金が多額になったため、所轄庁（当時は静岡県）の指導により、目的を明確にした基金として積み立て、計画的に助成に回すこととし、従前からあった積立金「緊急助成資金」に、繰越金のうち1億2000万円を積み増して、名称も「緊急等助成資金」に改めた。

令和4年度は、緊急等助成資金規程に基づき、緊急等助成資金を取り崩して、次の助成を行った。

■緊急等助成資金の状況　（単位：円）

前年度末 残　高	当年度取崩額	当年度積立額 （戻入額を含む）	当年度末 残　高
147,245,735	19,044,302	0	128,201,433

※当資金の適正規模は１億円程度と想定

（1） 災害見舞金

令和4年台風第15号災害の被災者に対して、災害等緊急助成実施要領第２条第２項(1)及び災害見舞金贈呈要領に基づき、209世帯に1,045,000円の災害見舞金を贈呈した。

①浜松市社会福祉協議会

福祉票			世帯数	被害状況	見舞金額(円)
登録区分	年齢	職業			
ひとり暮らし高齢者	71～86 歳	無職	20 世帯	床上浸水	105,000
		会社員	1世帯		
高齢者のみ	67～88 歳	無職	19 世帯	床上浸水	100,000
		電化業	1世帯		
身体障害者	83 歳 (1名は不明)	無職	2世帯	床上浸水	10,000
ひとり親	（不明）	（不明）	1世帯	床上浸水	5,000
その他	80～93 歳	無職	2世帯	床上浸水	10,000
計			46 世帯		230,000

②袋井市社会福祉協議会

福祉票			世帯数	被害状況	見舞金額(円)
登録区分	年齢	職業			
障がいのある人	66 歳	無職	1世帯	床上浸水	5,000
計			1世帯		5,000

③焼津市社会福祉協議会

福祉票			世帯数	被害状況	見舞金額(円)
登録区分	年齢	職業			
ひとり暮らし高齢者	69～94歳	無職	4世帯	床上浸水	20,000
ひとり暮らし障がいのある人	84歳	無職	1世帯	床上浸水	5,000
計			5世帯		25,000

④磐田市社会福祉協議会

福祉票			世帯数	被害状況	見舞金額(円)
登録区分	年齢	職業			
その他(生活困窮)	69～78歳	自営業	1世帯	床上浸水	10,000
		無職	1世帯		
計			2世帯		10,000

⑤静岡市社会福祉協議会

福祉票			世帯数	被害状況	見舞金額(円)
登録区分	年齢	職業			
ひとり暮らし高齢者	76～93歳	無職	20世帯	床上浸水	100,000

福祉票			世帯数	被害状況	見舞金額(円)
登録区分	年齢	職業			
高齢者のみ	65～96歳	無職	127世帯	床上浸水	640,000
		会社役員	1世帯		
障がい者	73～83 歳	無職	2世帯	床上浸水	10,000
高齢者･障がい者	76～91歳	無職	3世帯	床上浸水	15,000
計			153世帯		765,000

⑥掛川市社会福祉協議会

福祉票			世帯数	被害状況	見舞金額(円)
登録区分	年齢	職業			
高齢者世帯	74歳	無職	1世帯	床上浸水	5,000
その他(生活困窮者)	57歳	無職	1世帯	床上浸水	5,000
計			2世帯		10,000

災害見舞金　①～⑥合計	209世帯		1,045,000

（2）災害ボランティアセンター設置･運営費助成(令和4年台風第8号災害)

助成先	事業内容	件数	助成額(円)
松崎町社会福祉協議会 静岡県社会福祉協議会	活動用機材購入 車両借り上げ　ほか	2件	3,400,516
前年度		2件	1,582,997

松崎町　⇧

伊東市　⇩

（3）“赤い羽根”災害ボランティア活動用機器整備事業

助成先	事業内容	件数	助成額(円)
伊東市社会福祉協議会　ほか	災害活動用機器 収納庫	16件	8,886,786
前年度		23 件	12,452,519

(助成一覧は別冊統計資料　41～43ページ)

（4）　“赤い羽根”新型コロナ対策生活困窮者支援事業(詳細は20ページ参照)

助成先	事業内容	件数	助成額(円)
特定非営利法人 HEALTHY FAMILY はままつ　ほか	食支援、相談支援、居住支援、自立支援、学習支援	8件	710,000

※当事業は、中央共募からの助成金2,700千円と合わせ、助成総額3,410千円で実施

（5）伊豆山地区復興コミュニティ支援事業(詳細は別冊統計資料　44ページ)

助成先	事業内容	件数	助成額(円)
熱海市社会福祉協議会	賃借料 通信運搬費　ほか	1件	2,002,000
前年度		1件	2,122,000

（6）“赤い羽根”ウクライナ避難民静岡県緊急食支援事業

ロシア軍によるウクライナ侵略によりウクライナから静岡県内に避難された方々への緊急的な生活支援策として、食品を無償で提供するフードバンク事業を通じた助成プログラムを創設し、希望する避難民へ在住自治体の担当部署を通じて助成した。

助成先	事業内容	件数	助成額(円)
特定非営利法人 フードバンクふじのくに	フードバンク事業(県内ウクライナ避難民への食支援)	1件	3,000,000

3 助成効果の測定と実地監査の実施

助成先から助成事業完了後に「使途実施報告書・交付請求書」の提出を受け、書面により、助成効果の測定と実施状況の監査を行った。

（1） 市町社会福祉協議会による地域福祉活動

① 市町社会福祉協議会(抽出で7市町)について、配分委員が事務局を直接訪問又はオンライン訪問し、助成事業の実施状況を調査し、概ね妥当な状況であった。

② 市町への助成は、「使途が見えない」との批判があることから、今後の助成に当たっては、支援対象者への直接支援など助成事業にふさわしい内容とするよう指導をした。

③ また、赤い羽根共同募金と社会福祉協議会は地域福祉における車の両輪にも例えられることから、地域福祉活動計画の中に赤い羽根共同募金に関する記述を明記するよう指導した。

実地調査実施社協	直　接　訪　問(2件):富士市、清水町 オンライン訪 問(5件):伊東市、掛川市、川根本町、御殿場市、湖西市

（2） 福祉施設機器整備(修繕含む)

① 備品・車両等の更新又は整備は、対象者に対する福祉サービスの向上につながるもので、概ね申請の目的が達成されていた。

② 経年劣化等による施設設備整備は、設置者において年次計画を立てて実施するものであり、助成に当たっては当該経営主体の財政状況を勘案する必要がある。

③ 高額助成案件(200万円以上)については、事務局職員による実地監査(今年度は新型コロナの影響で書面監査)を行った。全助成事業が概ね適正に実施されていたが、見積合せ、契約などの事務処理では、法人の規程に従っていないものがあったため、文書指摘等を行い、適切な事業執行を指導した。

■実地監査実施状況(助成額200万円以上)

助成年度	事業実施年度	助成区分	件数	助成金額(千円)	指摘事項
令和2年度	令和3年度	福祉施設機器整備	5	14,050	文書指摘3件(見積、契約) 文書指導2件(納品、運動参加)

（3） 広域活動団体による地域福祉活動

講座、研修等は、福祉サービスの向上につながる人材養成やネットワーク構築に効果が見られた。

第３　新型コロナウイルス感染症への対応

1 コロナ禍での共同募金運動

（1）コロナ禍での目標額（助成計画）の設定

新型コロナウイルス感染症の影響は継続していたが、コロナ禍が運動に与える影響は限定的であると判断し、令和4年度共同募金目標額は、前年度より500万円増の5億4500万円に設定した。

（2）共同募金運動における感染症対策ガイドラインの改訂

令和2年度、中央共同募金会が医師の監修を得て全国統一的に作成した「募金活動実施にあたっての衛生配慮に係るガイドライン」をベースに本会では「感染症対策ガイドライン」を策定した。

令和4年度は、その後の状況の変化（全数届出見直しに伴う接触確認アプリCOCOAの機能停止）を踏まえて「感染症対策ガイドライン（第4版）」として改訂し、市町共同募金委員会と内容を共有した。

（3）令和3年度共同募金による市町社会福祉協議会の地域福祉活動支援事業

① いま必要な事業への柔軟な事業変更～新型コロナ対策事業への活用～

令和3年度の共同募金を財源として、市町社会福祉協議会が令和4年度に実施する地域福祉活動支援事業は、コロナ禍により中止になる事業があるなどの影響が出た。

中止となった事業の助成金は、全国共通助成テーマ「つながりをたやさない社会づくり～あなたは一人じゃない～」の要素を意識した新型コロナ対策事業など「いま必要な事業」へ柔軟に計画変更を行うよう依頼した。

■令和4年度に計画変更したコロナ禍に対応した赤い羽根助成事業（社会福祉協議会）　13社協45事業

事業カテゴリ	事業数	主な事業	内容
わたしたちのまちの福祉に	16	生活困窮者への食支援	新型コロナウイルス感染症拡大の影響で生活困窮となった世帯を対象に、食糧支援を行う。
		コロナ禍における偏見、差別をなくす取組み	コロナ禍での誹謗中傷など差別をなくし、互いを尊重することを学ぶ講座や取り組みを行う。（シトラスリボンプロジェクトなど）
		感染対策	安心して講座やサロン、イベントが開催できる環境整備を行う。（オンライン交流も含む）
		行事等に貸出する機器の整備、貸出	体験、レク活動に対応するため、必要な機材の整備や貸出を行う。
高齢者を応援する活動	8	ひとり暮らし高齢者見舞金等配布	見守りが必要なひとり暮らし高齢者に対し、お弁当を届けたり、見舞金を配布したりしながら、民生委員による見守りを実施する。（絵葉書送付なども含む）
		サロン活動など居場所づくり	新型コロナウイルス感染症対策を行ったうえで、ふれあいサロンなどを実施し、高齢者の外出及び交流の場を提供する。
		コンビニとの協力による移動販売	決まった曜日と時間に安心して自宅近くで買い物ができる仕組みづくりを行う。
子育てを応援する活動	15	シングルペアレント等生活困窮者への支援事業	新型コロナウイルス感染症拡大により収入が減少した困窮家庭に、食料や感染予防品の支援や見舞金贈呈を行う。（こども食堂など居場所づくり含む）
		交流事業	新型コロナウイルス感染症対策を行ったうえで、ボランティア講座や映画鑑賞会などを行う。
障害者を応援する活動	6	障害者の孤立を防ぐ工夫	外出の機会が少ない障害者の更なる孤立を防ぐために、新型コロナウイルス感染症対策を行ったうえで、レク活動を実施し、外出の機会と交流の場を提供する。

2 新型コロナ対策全国キャンペーン参加事業

（1）“赤い羽根”新型コロナ対策生活困窮者支援事業

本会が昨年度まで実施した「新型コロナ対策フードバンク応援事業」及び「新型コロナ対策いのちをつなぐ支援活動事業」を統合し、令和4年4月から中央共同募金会が行った全国キャンペーン参加事

業として、新型コロナウイルス感染症の影響に苦しむ人たちへの食支援、相談支援、居住支援、自立支援、学習支援を行う「新型コロナ対策生活困窮者支援事業」を実施した。

① 募金活動

ア 寄付金「その他の寄付金」として受け入れ（令和4年4月1日～令和4年9月30日）

種類	件数	寄付額(円)	摘　要
中央共同募金会助成金	1	2,700,000	日本中央競馬会からの寄付金

② 助成活動（助成対象期間 助成決定日～令和5年3月31日）

No.	団体名	事業名	助成額(円)	精算額(円)
1	(特非)HEALTHY FAMILY はままつ	“赤い羽根”経済的問題を抱える妊産婦親子への育児用品等支援事業	500,000	500,000
2	(特非)静岡家庭教育サポート協会	“赤い羽根”チャイルドラインカード配布・フリースペース開催事業	500,000	500,000
3	(福)静岡いのちの電話	“赤い羽根”「静岡いのちの電話」自殺予防講演会開催事業	300,000	300,000
4	(公社)静岡県母子寡婦福祉連合会	“赤い羽根”ひとり親家庭寄り添い生活応援事業	500,000	500,000
5	(福)浜松いのちの電話	“赤い羽根”第38期電話相談員募集事業	500,000	500,000
6	(特非)静子ども虐待防止センター・しずおか	“赤い羽根”「なうホットライン」電話相談	500,000	500,000
7	はままつチャイルドライン	“赤い羽根”チャイルドラインカード印刷・配布事業	110,000	110,000
8	(特非)POPOLO	“赤い羽根”住居を失った人への緊急支援事業	500,000	500,000
計			3,410,000	3,410,000

※当事業は、中央共募助成金2,700千円と緊急等助成資金710千円の合計3,410千円で実施

3 ポスト・コロナ社会に向けた福祉活動応援キャンペーン参加事業

(1) つながりワーカー養成及び実践活動支援実施事業

新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、経済的に困窮する人や社会的に孤立する人の増加、固定化が地域の大きな課題となっている中で、コロナ禍における地域での孤立に気づき、つながり、見守る人材（つながりワーカー）を地域に増やしていくため、市町社会福祉協議会が実施する、つながりワーカーを養成する講座・研修の開催と、その実践活動の支援に対して助成を行った。

① 募金活動

ア 寄付金「その他の寄付金」として受け入れ

種類	件数	寄付額(円)	摘　要
中央共同募金会助成金	1	2,000,000	赤い羽根福祉基金

② 助成活動（助成対象期間 令和4年10月～令和5年9月30日）

No.	団体名	事業名	助成額(円)
1	(福)富士市社会福祉協議会	“赤い羽根”子どもの居場所づくり推進事業	310,000
未交付配分金			1,690,000

※次年度は、未交付配分金 1,690千円と緊急等助成資金との合計 2,000千円で実施予定

第４　その他の活動

1　災害等準備金の状況

社会福祉法第118条に基づき、本県の災害ボランティア活動等（災害救助法が適用された災害が対象）を支援するため募金総額の3%を3年間積み立てている災害等準備金の状況は次のとおりである。

（1）　令和4年度の準備金状況（取崩・積立）　　（単位：円）

前年度末 残　高	当年度取崩額 （助成額、拠出額を含む）	当年度積立額 （戻入額を含む）	当年度末 残　高
54,910,000	24,477,704	14,880,000	45,312,296
【内訳】 H30積立　9,090千円 R1積立　15,700千円 R2積立　15,020千円 R3積立　15,100千円	【内訳】 ・R1 積立分のうち令和4年台風第15号災害で静岡市、焼津市、藤枝市、島田市、掛川市、袋井市、磐田市、浜松市及び県社会福祉協議会へ助成 15,387,704円 ・H30積立分の取崩 9,090,000円	【内訳】 ・ R4積立分 R4募金総額の 3% 14,880,000 円	【内訳】 R1積立　312,296 円 R2積立　15,020千円 R3積立　15,100千円 R4積立　14,880千円

（2）　災害等準備金のうち令和元年度積立分から下記のとおり助成した。（令和4年台風第15号災害）

助成先	助成額（円）	使途	助成日	備考
静岡市社会福祉協議会	3,000,000	災害ボランティアセンターの運営費 ・車両・活動用資材等借上料 ・事務機器等借上料 ・活動用資材購入費 ・光熱水費・電話等通信費ほか	令和4年9月26日	R1積立 15,700,000円 助成　15,387,704円 （98. 0%） 残額　312,296円
焼津市社会福祉協議会	349,936		令和4年9月26日	
藤枝市社会福祉協議会	2,571,392		令和4年9月26日	
島田市社会福祉協議会	1,000,000		令和4年9月26日	
掛川市社会福祉協議会	394,646		令和4年10月18日	
袋井市社会福祉協議会	1,000,000		令和4年9月26日	
磐田市社会福祉協議会	3,679,581		令和4年9月26日 令和5年3月9日	
浜松市社会福祉協議会	769,325		令和4年9月26日	
静岡県社会福祉協議会	2,622,824		令和5年3月30日	
計	15,387,704			

静岡市

島田市

（3） 災害等準備金のうち積立後3年が経過した平成30年度積立分 9,090,000円は取崩し、令和4年度助成財源とした。

（4） 年度末には、令和4年度分として14,880,000円を新たに積み立てた。

2 災害義援金の状況

（1） 静岡県の災害義援金

令和4年9月23日から24日にかけて静岡県に接近した台風第15号により、県内各地で浸水被害・土砂災害が発生し、23市町に災害救助法が適用された。

これを受けて静岡県共同募金会では、静岡県及び日本赤十字社静岡県支部と調整の上、この災害により静岡県で被災された方々を支援することを目的に義援金を募集した。義援金は県から市町を通じて令和5年3月末をもって被災者への配分を完了した。（中央共同募金会からの業務支援資金 163,740 円）

① 概要

名　　称	令和4年台風第15号災害静岡県義援金
受 付 期 間	令和4年9月27日(火)～令和4年12月28日(水)
受付実施団体	静岡県、社会福祉法人静岡県共同募金会及び日本赤十字社静岡県支部
受 付 方 法	指定金融口座への振込又は各機関(静岡県を除く)の窓口 （※義援金のみの受け入れとし、救援物資・物品は受け入れしない）

② 受付状況

受付実施団体	受付金額	受付件数
静岡県	221,584,553 円	978 件
(福)静岡県共同募金会	24,974,917 円	1,418 件
日本赤十字社静岡県支部	123,429,716 円	401 件
合　　計	369,989,186 円	2,797 件

③ 配分状況

上記受付金額 369,989,186 円について、以下のとおり配分を決定した。

ア 令和4年台風第15号災害静岡県義援金募集・配分委員会の概要

開催回数及び配分金額	第1回 令和4年9月27日開催(書面審議)	——
	第2回 令和4年11月18日開催	決定配分金額：146, 237, 000円
	第3回 令和5年2月2日開催	決定配分金額：214, 603, 000円
	第4回 令和4年3月 22 日開催(書面審議)	決定配分金額： 9, 149, 186円
配分方法	公平・適切な配分のため委員会にて配分基準等を定め、市町を通じて配分する。	
委員会の構成団体	静岡県市長会町村会総合事務局、(福)静岡県社会福祉協議会、 (福)静岡県共同募金会、日本赤十字社静岡県支部、日本放送協会静岡放送局、 公益財団法人静岡新聞・静岡放送文化福祉事業団、静岡県	

イ 配分結果(15 市町)

〇被災区分及び配分単価

被災区分	配分 対象数（人・世帯） 計 4,943	配分単価(円)			
		第1回	第2回	第3回	合計
死者	3	89,000	122,000	54,519	265,519
重傷者	15	−	106,000	27,256	133,256
軽傷者	4	2,000	3,000	−	5,000
全壊	9	89,000	122,000	54,519	265,519
大規模半壊	22	66,000	92,000	40,893	198,893
中規模半壊	128	55,000	77,000	34,074	166,074
半壊	2,393	44,000	62,000	−	106,000
準半壊	1,117	22,000	31,000	−	53,000
準半壊に至らない(一部損壊)	149	8,000	13,000	−	21,000
床上浸水	1,103	8,000	13,000	−	21,000

○市町別配分額

対象市町	配分 対象数(人・世帯)	第1回配分額(円)	第2回配分額(円)	第3回配分額(円)	配分総額(円)
静岡市	3,811	131,140,000	193,975,000	8,017,328	333,132,328
浜松市	246	2,680,000	4,532,000	169,806	7,381,806
磐田市	207	2,528,000	4,202,000	40,893	6,770,893
藤枝市	190	1,943,000	3,096,000	55,074	5,094,074
袋井市	109	2,707,000	1,587,000	143,112	4,437,112
焼津市	165	1,434,000	2,127,000	0	3,561,000
島田市	87	1,302,000	1,917,000	81,786	3,300,786
川根本町	12	752,000	1,045,000	436,182	2,233,182
牧之原市	48	560,000	874,000	21,000	1,455,000
掛川市	12	415,000	550,000	184,005	1,149,005
御前崎市	27	266,000	418,000	0	684,000
森町	21	464,000	126,000	0	590,000
菊川市	6	46,000	112,000	0	158,000
富士宮市	1	0	21,000	0	21,000
伊東市	1	0	21,000	0	21,000
合計	4,943	146,237,000	214,603,000	9,149,186	369,989,186

（2） 全国の義援金募集要綱を市町社会福祉協議会に周知した。　7 件

3 共同募金以外の特定寄付金、指定寄付金の受入れと助成

（1） 特定寄付金、指定寄付金

税制上の優遇措置を希望する共同募金以外の特定寄付金、指定寄付金については、前年度に引き続き、実績はなかった。

4 他団体助成事業の受託事務

（1） 公益財団法人中央競馬馬主社会福祉財団助成事業の推薦事務

中央競馬馬主社会福祉財団から中央共同募金会を通じて事務を受託し、当財団の助成を要望する施設を募集し審査のうえ、次のとおり推薦した。(受託事務費205,000円)

施設名	所在地	助成額(円)	使途指定内容
海山荘(特別養護老人ホーム)	牧之原市	1,320,000	福祉車両購入
芳川の里(特別養護老人ホーム)	浜松市	2,070000	網戸・障子修繕工事
春日保育園(保育所)	静岡市	2,230,000	プールウッドデッキ、ステージ、幼児用テーブル更新
計 （3）		5,620,000	
前年度 （3）		5,270,000	

（2） 公益財団法人車両競技公益資金記念財団助成事業の申請受付事務

車両競技公益資金記念財団から中央共同募金会を通じて事務を受託し、当財団の助成を要望する施設・団体の募集及び申請書の受付業務を代行した。(受託事務費40,000円)

施設・団体名	所在地	助成額(円)	使途指定内容
認定こども園 原町保育園	沼津市	4,000,000	1階幼児組床改修
計 （1）		4,000,000	
前年度 （2）		4,171,000	

5 顕彰活動

（1） 令和4年度全国社会福祉大会における表彰

令和4年12月13日(火)、浅草公会堂(東京都台東区)において、令和4年度全国社会福祉大会が開催され、本県関係では次のとおり表彰された。

① 厚生労働大臣表彰(1 件)

表彰区分	件数	条件	備考
共同募金運動奉仕団体	1団体	20年以上	

② 中央共同募金会会長表彰(6件)

表彰区分	件数	条件	備考
奉仕功労者	3名	10年以上	
優良地区・団体	3団体	10年以上	

(2) 令和4年度静岡県健康福祉大会と表彰

令和4年11月4日(金)、グランシップ(静岡市駿河区)において、ふじのくに健康福祉キャンペーン推進協議会の主催による令和4年度静岡県健康福祉大会を開催し、次のとおり表彰した。(うち代表受領者は個人1、団体1)

① 静岡県知事褒賞(1 件)

表彰区分	件数	条件	備考
共同募金運動推進者	2団体	15年以上	

② 静岡県共同募金会会長表彰(45件)

表彰区分	件数	条件	備考
募金ボランティア個人	15名	3年以上	
募金ボランティア団体	28団体	〃	
募金ボランティア地区	2地区	〃	

(3) その他の顕彰(181 件)

表彰区分	件数	条件	備考
厚生労働大臣感謝状	3 件	個人100万円以上 団体300万円以上	個人 1 件 団体 2 件
中央共同募金会会長感謝楯	1 件	個人 50 万円以上 団体 100 万円以上	団体 1 件
中央共同募金会会長感謝状	7 件	個人20万円以上 団体60万円以上	個人 3 件 団体 4 件
静岡県共同募金会会長感謝状	170 件	5 万円以上	

第3部　法人運営

第1　会務の運営

1　理事会

開催時期･会場	審議事項	備考
【第294回】 令和4年5月23日(月) 静岡県総合社会福祉会館 5階集会室 (定足数) 総数11名(定員9～11名) 出席者11名 ※監事　2名出席	【報告事項】 (1)会長及び常務理事の職務執行状況の報告について (2)定款第24条ただし書きにより会長が専決した事項の報告について ①令和3年度課題解決プロジェクト募金の助成措置 ②令和3年度共同募金(一般募金)への寄付物品による助成措置 ③令和4年度共同募金(一般募金)への寄付物品による助成措置 ④令和4年度こども食堂誕生日会･福産品応援事業(夏休み支援)の助成措置 ⑤令和4年度助成要綱の一部訂正 (3)知事報告について 【決議事項】 第1号議案　評議員候補者(補欠)の推薦及び評議員選任･解任委員会の招集について 第2号議案　理事候補者(補欠)の提案について 第3号議案　配分委員会委員の補欠選任について 第4号議案　次期評議員選任･解任委員会委員の選任について 第5号議案　経理規程の一部改正について 第6号議案　令和3年度事業報告の承認について 第7号議案　令和3年度計算書類等の承認について 第8号議案　定時評議員会の招集について 第9号議案　令和4年度共同募金(一般募金)広域目標額(市町共募扱い)について	･原案どおり決議 ･原案どおり決議 ･原案どおり決議 ･原案どおり決議 ･原案どおり決議 ･原案どおり決議 ･原案どおり決議 ･原案どおり決議 ･原案どおり決議
【第295 回】(決議の省略) 令和4年5月31日(火) 総数11名(定員9～11名) 同意11名(書面) ※監事2名異議なし(書面)	【決議事項】 第1号議案　評議員候補者(補欠)の推薦及び評議員選任･解任委員会の招集について 第2号議案　配分委員会委員の補欠選任について	･原案どおり決議 ･原案どおり決議
【第296回】 令和4年7月15日(金) 静岡県総合社会福祉会館 5階集会室 (定足数) 総数11名(定員9～11名) 出席者10名 ※監事　1名出席	【報告事項】 (1)会長及び常務理事の職務執行状況の報告について (2)定款第24条ただし書きにより会長が専決した事項の報告について ①令和4年度共同募金(一般募金)への寄付物品による助成措置 ②令和4年度“赤い羽根”新型コロナ対策生活困窮者支援事業による助成措置 ③令和4年度(公財)中央競馬馬主社会福祉財団助成要望団体の推薦 【決議事項】 第1号議案　令和4年度(第72回)NHK歳末たすけあいの助成方針について 第2号議案　令和4年度課題解決プロジェクト募金の実施について 第3号議案　令和4年度共同募金の目標額、受配者の範囲、配分の方法について 第4号議案　令和4年度中央共同募金会が行う福祉活動応援キャンペーンに対応した助成事業の創設について	･原案どおり決議 ･原案どおり決議 ･原案どおり決議 ･原案どおり決議
【第297回】(決議の省略) 令和4年12月27日(火) 総数11名(定員9～11名) 同意11名(書面) ※監事2名異議なし(書面)	【決議事項】 第1号議案　配分委員会委員の補欠選任について	･原案どおり決議

開催時期・会場	審議事項	備考
【第298回】(決議の省略) 令和5年2月15日(水) 総数11名(定員9～11名) 同意11名(書面) ※監事2名異議なし(書面)	【決議事項】 第1号議案 理事候補者(補欠)の提案及び評議員会の招集について	・原案どおり決議
【第299回】 令和5年3月13日(月) 静岡県総合社会福祉会館 5階集会室 (定足数) 総数11名(定員9～11名) 出席者9名 ※監事 2名出席	【報告事項】 (1)会長及び常務理事の職務執行状況の報告について (2)令和4年度共同募金運動の状況について (3)定款第24条ただし書きにより会長が専決した事項の報告について ①令和4年度地域歳末たすけあい募金による助成措置 ②令和4年度共同募金(一般募金)への寄付物品による助成措置 ③令和4年台風第15号災害への対応状況 ア 災害見舞金贈呈要領に基づく見舞金の贈呈 ④ 職員給与規程施行細則の一部改正 【決議事項】 第1号議案 副会長の選定について 第2号議案 配分委員会委員の選任について 第3号議案 役員等賠償責任保険の契約について 第4号議案 令和4年度共同募金(一般募金)による助成について 第5号議案 令和4年度地域歳末たすけあい募金の剰余金による助成について 第6号議案 令和4年度(第72回)NHK歳末たすけあいによる助成について 第7号議案 令和4年度災害ボランティア活動用機器整備事業の助成について 第8号議案 緊急等助成資金規程第1条に定める地域福祉活動への助成(継続)について 第9号議案 令和4年度資金収支補正予算について 第10号議案 災害ボランティア活動用機器整備事業実施要領の一部改正について 第11号議案 令和5年度助成要綱の制定について 第12号議案 中央共同募金会「ポスト・コロナ社会に向けた福祉活動応援キャンペーン」に対応した助成事業の実施要領の一部改正について 第13号議案 諸規程の改正について (1) 物品購入等に係る契約事務処理要領の一部改正 (2) 就業規則の一部改正 (3) 職員給与規程の一部改正 (4) 職員給与規程施行細則の一部改正 (5) 嘱託員の身分等取扱規程の一部改正 第 14 号議案 令和5年度事業計画について 第 15 号議案 令和5年度資金収支予算について	 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議

2 評議員会

開催時期・会場	審議事項	備考
【第175回(定時)】 令和4年6月13日(月) 静岡県総合社会福祉会館 6階601会議室 (定足数) 総数14名(定員12～14名) 出席者13名 ※会長、常務理事出席 ※監事 2 名出席	【報告事項】 (1)令和3年度事業報告について 【決議事項】 第1号議案 令和3年度計算書類等の承認について 第2号議案 理事の補欠選任について	 ・原案どおり決議 ・原案どおり決議

開催時期・会場	審議事項	備考
【第176回】(決議の省略) 令和5年2月22日(水) 総数14名(定員12～14名) 同意14名(書面)	【決議事項】 第1号議案　理事の補欠選任について	・原案どおり決議

3　監事監査

開催時期・会場	審議事項	備考
令和4年5月10日(火) 静岡県総合社会福祉会館 1階104会議室 監事2名出席(定員2名)	1　令和3年度の理事の職務の執行の監査 2　令和3年度の業務及び財産の状況の監査 ※公認会計士兼髙則之氏による「独立監査人の監査報告書」は令和4年6月13日受理	事業の適正・計算関係書類及び財産目録の適正が認められた。

4　評議員選任・解任委員会

開催時期・会場	審議事項	備考
【第10回】 令和4年5月23日(月) 静岡県総合社会福祉会館 5階集会室 (定足数) 総数5名(定員5名) 出席者5名	【審議事項】 第1号議案　評議員の補欠選任について	・原案どおり決議
【第11回】 令和4年6月2日(木) 静岡県総合社会福祉会館 5階集会室 (定足数) 総数5名(定員5名) 出席者5名	【審議事項】 第1号議案　評議員の補欠選任について	・原案どおり決議

5　配分委員会

開催時期・会場	審議事項	備考
【第63回】 令和4年7月1日(金) 静岡県総合社会福祉会館 5階集会室 (定足数) 総数13名(定員13名) 出席者10名	【報告事項】 (1)令和3年度共同募金運動の実績について (2)配分委員会規程第8条第7項により委員長が専決した事項の報告について ①令和3年度課題解決プロジェクト募金による助成措置 ②令和3年度共同募金(一般募金)への寄付物品による助成措置 ③令和4年度共同募金(一般募金)への寄付物品による助成措置 ④令和4年度こども食堂誕生日会・福産品応援事業(夏休み支援)の助成措置 ⑤令和4年度“赤い羽根”新型コロナ対策生活困窮者支援事業の助成措置 ⑥令和4年度助成要綱の一部訂正 (3)実施監査結果の報告について 【審議事項】 第1号議案　令和4年度(第72回)NHK歳末たすけあいの助成方針について 第2号議案　令和4年度課題解決プロジェクト募金の実施について 第3号議案　令和4年度共同募金の助成計画について 第4号議案　令和4年度中央共同募金会が行う福祉活動応援キャンペーンに対応した助成事業の創設について 第5号議案　令和4年度(公財)中央競馬馬主社会福祉財団助成事業に係る推薦について	 ・原案どおり承認 ・原案どおり承認 ・原案どおり承認 ・原案どおり承認 ・原案どおり承認

開催時期・会場	審議事項	備考
【実地調査】 令和5年1月10日から 令和5年2月9日まで (延べ15日間)	配分委員13名により、令和4年度共同募金による助成事業に申請のあった66施設、グループ、団体の実地調査(新型コロナの影響で調査4日目から書面調査に変更)を実施した。	
【第64回】 令和5年3月3日(金) 静岡県総合社会福祉会館 5階集会室 (定足数) 総数13名(定員13名) 出席者9名	【報告事項】 (1)令和4年度共同募金運動の状況について (2)配分委員会規程第8条第7項により委員長が専決した事項の報告について ①令和4年度地域歳末たすけあい募金による助成措置 ②令和4年度共同募金(一般募金)への寄付物品による助成措置 ③令和4年台風第15号災害への対応状況 ア 災害見舞金贈呈要領に基づく見舞金の贈呈 【審議事項】 第1号議案 令和4年度共同募金(一般募金)による助成について 第2号議案 令和4年度地域歳末たすけあい募金の剰余金による助成について 第3号議案 令和4年度(第72回)NHK歳末たすけあいによる助成について 第4号議案 令和4年度災害ボランティア活動用機器整備事業の助成について 第5号議案 緊急等助成資金規程第1条に定める地域福祉活動への助成(継続)について 第6号議案 災害ボランティア活動用機器整備事業実施要領の一部改正について 第7号議案 令和5年度助成要綱の制定について 第8号議案 中央共同募金会「ポスト・コロナ社会に向けた福祉活動応援キャンペーン」に対応した助成事業の実施要領の一部改正について	 ・原案どおり承認 ・原案どおり承認 ・原案どおり承認 ・原案どおり承認 ・原案どおり承認 ・原案どおり承認 ・原案どおり承認 ・原案どおり承認

6 本会開催の会議等

会議名	開催時期	対象者
web 勉強会「募金事務」事務処理要領	10月31日(月) (オンライン)	市町共募職員26名 (対象:事務経験 1～2 年目の職員)
助成金交付説明会	3月29日(水)	助成先54施設・団体

第2　その他の会務の運営

1　関係機関との連携

（1）　中央共同募金会主催の会議等

会議名	開催時期	対象者
都道府県共同募金会職員研修会	4月21日(木)、22日(金)	主事、派遣職員
中央共同募金会評議員会	6月17日(金)(オンライン)	常務理事
第 11 回赤い羽根全国ミーティング	7月5日(火)、6日(水)(オンライン)	主事
都道府県共同募金会常務理事・事務局長会議	7月14日(木)(オンライン)	常務理事、事務局長
	2月10日(金)(オンライン)	常務理事、事務局長
都道府県共同募金会災害時支援基礎研修	7月29日(金)(オンライン)	事務局長、主事
都道府県共同募金会総務・会計担当者会議	8月5日(金)(オンライン)	事務局長、主事
中央共同募金会顕章審査委員会	10月12日(水)(書面審査)	常務理事
都道府県共同募金会職員第1回オンラインサロン(遺贈寄付)	11月1日(火)(オンライン)	主事
中央共同募金会ブロック幹事連絡協議会	12月16日(金)(オンライン)	常務理事
政令指定都市を有する都道府県共同募金会情報交換会	12月27日(火)(オンライン)	常務理事、事務局長

（2）　社会福祉協議会主催の会議等

会議名	開催時期	参加者
市町社会福祉協議会新任事務局長研修会	4月21 日(木)(オンライン)	常務理事
市町社会福祉協議会事務局長会議	5月20日(金)(オンライン)	常務理事
県社会福祉協議会夢みらい応援資金贈呈式	5月20日(月)	常務理事
西部ブロック社会福祉協議会連絡会	8月5日(金)、11月 25 日(金)	資料提供のみ
県社会福祉協議会災害ﾎﾞﾗﾝﾃｨｱ活動用機器覚書締結式	8月31日(水)	常務理事
令和4年台風第15号に係る市町社協事務局長会議	10月14日(金)(オンライン)	常務理事、事務局長
市町社会福祉協議会東部地区連絡会	1月24日(火)	資料提供のみ
市町社会福祉協議会中部地区連絡会	3月3日(金)	資料提供のみ

（3）　外部研修

会議名(主催)	開催時期	参加者
監事監査研修(静岡県社会福祉協議会)	4月22日(金)～5月10日(火) (オンライン)	監事、事務局長

2　共同募金運動募金経費

昭和42年9月19日付社庶第340号厚生省社会局長通知の求める“経費率概ね10%”を達成するために、寄付物品の受け入れなど新たな募金手法にも挑戦し募金総額の増加につなげるとともに、募金経費は常にその内容を分析・精査し、必要最小限で最大の効果を上げるよう努めた。

年度	募金経費	経費率 (募金総額に対する募金経費)	内　　容
4年度	67,567,917円 (うち市町共同募金委員会経費 15,012,629円)	13.30%	人件費、事業費、事務費、中央共同募金会分担金、減価償却費ほか
前年度	66,860,781円 (うち市町共同募金委員会経費 15,831,219円)	12.96%	同上

3　社会福祉法人指導監査

社会福祉法第56条に基づく所轄庁(静岡市)による社会福祉法人指導監査は、5年に1回の周期で行われるので、今年度は対象外であった。なお、次回は令和6年度の予定である。

第3　社会福祉法人静岡県共同募金会役員等名簿

1　理事・監事

［令和5年3月31日現在］　理事定数9～11名(現員11名)　監事定数2名(現員2名)

役職名	氏　名	役職名	氏　名
会長(理事)	後 藤 康 雄	理事	廣 野 篤 男
副会長(理事)	梶 谷　　浩	〃	鈴 木 寿 一
副会長(理事)	岩 倉 睦 弘	〃	角田裕之介
副会長(理事)	榊 原 昭 雄	常務理事	影 島 秀 明
理事	渡 邉 泰 明	監事	廣 瀬 清 久
〃	芹 澤 和 代	〃	萩 原 綾 子
〃	山 城 厚 生		

2　評議員

［令和5年3月31日現在］　評議員定数12～14名(現員14名)

役職名	氏　名	役職名	氏　名
評議員	中 村 泰 昌	評議員	岩 崎 康 江
〃	窪 田 賢 一	〃	鈴 木 良 則
〃	柳 川　　実	〃	天 野 崇 志
〃	塩 﨑 克 幸	〃	中 西 清 文
〃	芦 川 清 司	〃	戸野谷　宏
〃	田 宮 文 雄	〃	田 中 尚 弘
〃	米 山 英 二	〃	渡 邉 順 子

3　評議員選任・解任委員会委員

［令和5年3月31日現在］　委員定数5名(現員5名)

役職名	氏　名	役職名	氏　名
委　員(外部委員)	池 田 幸 男	委　員	萩 原 綾 子
〃	佐々木希世子	〃	藤原由佳子
〃	植 松 政 人		

4　配分委員会委員

［令和5年3月31日現在］　委員定数13名(現員13名)

役職名	氏　名	役職名	氏　名
委員長	梶 谷　　浩	委　員	田 宮 文 雄
副委員長	影 島 秀 明	〃	澤 木 達 治
委　員	角田裕之介	〃	野 村 諒 子
〃	鈴 木 良 則	〃	天 野 崇 志
〃	鈴 木　　亨	〃	勝間田和子
〃	宮 﨑 真 弘	〃	中村千須子
〃	日 詰 一 幸		

5　職　員

［令和5年3月31日現在］

役職名	氏　名
常務理事	影 島 秀 明
事務局長	藤原由佳子
主　事	杉 山 大 輔
嘱託員	村 田 明 子
〃	石川ひろみ
調査専門員	大 野 彰 彦

【事務所所在地】
〒420-0856　静岡市葵区駿府町1番70号 静岡県総合社会福祉会館シズウェル4階 TEL　054-254-5212　FAX　054-254-6400 e-mail　22@shizuoka-akaihane.or.jp URL　http://www.shizuoka-akaihane.or.jp/